

「夏休み公開講座 もっと知ってほしい小児がんのこと」

実施報告

小児がんについて一般の子どもたちに関心を持ってもらうことを目的に企画した夏休み公開講座は、今年で3回目の開催となりました。今回も、キャンサーネットジャパンとの共催で、2019年8月10日に神奈川県立こども医療センター講堂で開催いたしました。午前中は、「小児がんってどんな病気？」をテーマに医師からの講義、また小児がん体験者からのお話しの後、模擬でのレモネードスタンドを行いました。また午後には「小児がん治療・支援を体験しよう！」をテーマに、小児外科の医師や病理部門が中心となって、子どもたちの体験学習を行いました。今回は対象者を小学4年生以上として、当日は9名のキャンセルもありましたが、小・中・高校生合わせて43名のお子様の参加がありました。



イベントは、スイカキャップを身に付けて登場した当センター町田治郎総長の開会のあいさつから始まりました。続いて、血液・腫瘍科部長の後藤裕明医師から、「“小児がん”ってどんな病気？」として約30分のミニレクチャーがありました。半数の子どもたちが「子どもにもがんができることを知っている」とのことでした。参加した子どもたちはもちろん、見学に来ら

れていた約50名の付き添いのご両親も熱心に先生のお話を聴いてくださっていました。その後、現在は20代前半で小学校の教師をしている小児がん経験者から、小学6年生から中学2年生までの入院・闘病経験を通したお話がありました。「治療はきつかったこと」「病気になって、夢や楽しみが奪われたこともあるが、経験を生かして、子どもたちに命の大切さを伝えたいと小学校の教師になったこと」、また「強い自分になったこと」を語って下さいました。子どもたちはメモを取りながら真剣に



聞き入り、また目頭を熱くされている親御さんもいらっ

しゃったようでした。手洗いタイムも含んだ休憩の後、アメリカでレモネードスタンドを始めたアレックスちゃんのお話しの動画、レモネードづくりが始ま



りました。みんなで協力しながら作ったレモネードは甘酸っぱいけど「おいしい！」の音がきかれています。そしておもちゃのお金を手にした見学者へ「レモネードはいかがですか？」と掛け声をかけ、レモネードスタンドの体験を行いました。その後、感想を書いて午前中の体験を共有しました。

以下は、午前中の様子の一部を写真でご紹介しています。(お写真は、全て許可を得て掲載しています)





まずはお砂糖をはかります。。



協力し合って。。



入れすぎないように。。



あとは水をいれてまぜるだけ。。



「レモンネードはいかがですか？」



「ありがとうございます」(やった! 売れた)



いっぱい感想も書きました



感想を発表してくれました

お昼休憩の前に、午後の体験学習に向けて当院小児がんセンター長で外科医長の北河医師から、「小児がんはこうやって見つける！治す！」をテーマに、実際の画像などを見せながら、どのように検査したり、手術したりするのかについてのお話があり、子どもたちは真剣に聞いている様子でした。

午後の体験の案内の後、集合写真を撮って、お昼休憩に入りました。



【集合写真】



午後は、「がんの細胞を顕微鏡で見てみよう」「エコー検査を体験してみよう」「模擬手術を体験しよう」

「内視鏡をのぞいてみよう」の4つのコーナーが設けられ、外科や病理の先生たちからの説明やお手伝いのもと、みんな熱心に参加している様子でした。そして、お子様たちのその様子をお父さんお母さんが記念撮影している様子も見られました。

会場は大盛況！ ⇒

次に各コーナーの様子を紹介します。



顕微鏡体験コーナー

ミニレクチャー
「がん細胞をみてみよう」

胎児(お腹の中の赤ちゃん)の腎臓に似ています(腎芽腫)

血液のがんの仲間です(ホジキンリンパ腫)がん細胞の観分を調べてみよう!

がん細胞自身が骨を作っています(骨肉腫)

皮膚や、脳、腸管、骨、軟骨、歯もできます(成熟奇形腫)歯はどれだろう?

まずは、顕微鏡をのぞいてみよう!
両目でみられるかな?



みんな真剣にのぞいています



お母さんも真剣

消化管内視鏡検査

消化管(食べ物の通り道)はトンネルになっている!

食道 食べ物を胃の中へ運ぶ
胃 胃酸で食べ物を溶かす
小腸 栄養分を吸収する
大腸 水分を吸収する

内視鏡は消化管の中を拡大視して病気を見つけ出す!
先端のレンズによって小さいものも大きく見えます
術者は左手でダイヤルを、右手で内視鏡の先を持ちます
モニターを見ながら消化管の中を観察します
両手で上手に操作できるかな?

実際には下のように入鏡できます
左: 正常な胃 右: 胃がん

模型を使って内視鏡を体験してみよう!



使い方を教わって・・・見えるかな?



口のなかをのぞいてみよう!

「わあ〜」

腹部超音波検査(エコー検査)

エコー検査ってなに？
臓器の先端から超音波を出し、跳ね返ってきた超音波を画像として見る検査だよ。
身体の深い部分にある病変も見つけることができるよ。

エコー検査の特徴

- ① 空気は音のゼリーをつけて身体に空着させよう。
- ② 骨や硬い組織は通れないよ。
- ③ 超音波が体をすり抜けるだけなので、痛くないよ。
- ④ 赤ちゃんから大人まで、安全に検査ができるよ。

エコー検査の手順

- ① 検査を受ける人は、台の上にお腹を上にして横になろう。
- ② 検査を行う人は、ベッドの右側に座ろう。
- ③ エコーにゼリーをたっぷりつけて、身体に当ててみよう
(ゼリーで服が汚れないように注意しよう)。
- ④ 少し押したり、横けてみたり、スライドさせてみると、探している臓器が見えたりするよ。

からだの臓器を見てみよう

心臓
全身に血を流すポンプの役割だよ。
1分間に5リットルの血液を全身に送っているよ。
心臓の壁の厚さから見てみよう。

肝臓
栄養を貯めたり、不要な物質を分解したり、消化液を作っているよ。
空の胆嚢の壁から見てみよう。

腎臓
尿を作って、身体中の水分やミネラルの調整をしているよ。
空室にあるよ、背中から見よう。



エコー検査は二人一組で、先生の指導のもと、お互いの臓器をみてみました！



くすぐりたいよ～
ぼくの心臓 みえるかな？



お父さんたちは、子どもたちの手術姿を・・・

真剣です



手術体験コーナー

まずは準備から これですべて立派な外科医のたまごだ！

ぼうし

マスク

てぶくろ

ガウン

へんしん 変身！

Mission 1
キスをなおせ！
(縫合の練習)



Mission 2
ピースをつみあげろ！
(腹腔鏡(カメラ手術)の練習)



針は危ないので、気をつけましょう
ケガすることもあります。



手術着がさまになってます